

## 写真で見る白川郷のbefore→after



←の2枚の写真は白川郷の一角の写真です。上と下で決定的に違うのは電線が"ある"か"ない"かですね。このように約10年という長い年月を経て地中化が行われた地域は数多くあります。このように、一目見てパッと分かつと思わず感嘆の声を漏らしてしまうかもしれませんね！



### 当NPO理事長、高田昇氏が見る白川郷の電線類地中化とは？

風景や街並みは建物だけでなく、それを取り巻く田園、路などが一体となって意味を持つ。これまでは建物のみに関心が偏っていたが、それだけでは結果として本来の目的は達成されない。多くの歴史的町並みは白川郷の景観を総体としてとらえるようになってほしい。



高田理事長、お忙しい中ありがとうございました！

#### 編集者より

私にとって少々思い入れのある白川郷を特集してみました！  
(思い入れがあると言っても行ったことはありませんけども・・・)  
前々からずっと行きたいと思っていた白川郷ですが、電柱撤去、電線類地中化が行われたとなるとますます行きたくなってきました！  
今度、長い休みが取れた時には、実物の街を見てきたいと思います！

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！

<http://nponpc.org/top.aspx>



「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

# 美空～MISORA～

## 第17号

発行日：2009年11月16日(月)

発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

### 【特集】世界遺産“白川郷”の地中化に迫る！ ～100年前の白川郷を取り戻そう～

今月号の特集は世界遺産の白川郷の地中化取り組みに焦点を当てて紹介していきます！

白川郷と言えば岐阜県に位置する合掌造りで有名な伝統的建築物群保存地区です。

その白川郷で1998年から進められていた電線類地中化工事がようやく終わりすべての地区で電柱が撤去されました！

10年余りの工事期間を経て遂に100年前の景観を取り戻した白川郷、住民の方々の取り組みとはいったい？

というわけで、今回は白川郷の取り組みについてピックアップをしていきましょう！



高台から見下ろした白川郷の風景。とても綺麗ですね！  
今回はこの美しい世界遺産に注目します！

## 世界で唯一人が生活する ”世界遺産”白川郷”

電線類地中化工事がおこなわれる前の白川郷には電線が約330本立っていたそうです。そのせいで、せつかくの素晴らしい景観を損なっていました。ですが電線類の地中化により世界遺産にふさわしい白川郷を目指して。そして、100年前の姿に戻したいという願いを込め「100年前の白川郷をめざす会」が発足しました。



着工当時、国の地中化工事の補助対象は、電力、通信密度が極度に高い都市中央部に限られていました。合掌家屋が点在する荻町地区は、田園風景が広がる典型的な田舎のため、補助を受けるには難しい状況でした。荻町の電気と電話線は、国道と村道を合わせて延長約4・5キロ。地中化の総事業費は、当時で村の年間予算の3分の2に相当する約20億円が見込まれました。こうした事態を受け「100年前の白川郷をめざす会」は1998年10月に「100万人署名と100円募金」の活動をスタートさせ、全国に協力を呼びかけました。

## 国へ直談判、そして完全地中化へ

「台風で電線同士が触れたり、地面に垂れ下がったりして発生した火花が、合掌家屋に燃え移ったら誰が責任を取るのか」と国に直談判していった「100年前の白川郷をめざす会」。全国20か所以上で講演会を開き、白川郷の景観保全を訴えていきました。保全運動は全国的な反響を呼び、署名・募金活動から間もなく、国は補助事業として認め、地中化工事が始まりました。今年7月から地中化に必要な最期の管路埋設工事が進んでいます。11月中旬までに約600メートルの管路を埋設する。共同テレビ用の線(延長約1.2キロ)も前倒して、今年度中に地中化する予定。総事業費は、当初の見込みより半分以下の約9億円にとどまる見通しだそうです。



### メールマガジンも好評配信中です！！

当NPOでは、メールマガジンも配信させていただいております。  
電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！  
ぜひこちらにもご登録ください！  
アドレスはコチラ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>